

第233回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成29年11月20日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
青木 敬信
早川 富美子
篠田 裕次
小笠原 伸

(2) 欠席委員の氏名 君島 理恵 (副委員長)

(3) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (総務部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

11月4日(土曜日)に放送した「MAST ドリームプロジェクト 2020」について、
試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

これはリスケとAZUSAをパーソナリティに起用して、10月より放送をスタートした新番組
です。毎回、栃木県内で活躍している若きアスリートを迎え、競技の紹介とその魅力、また競技
を続ける中で忘れられないエピソードなどの話を伺っています。

今回の放送では、栃木県立今市高等学校・女子フィールドホッケー部の2人を迎えて、
今年3月に行われた全国大会決勝戦のエピソードを振り返るほか、また、競技の魅力についても、
探っています。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

県内の若きアスリートを応援するというこの番組の企画は、地域に根ざしたメディアとして素晴らしい取り組みである。

また、レジェンド・アスリート紹介のコーナーも交えた構成は、番組全体にメリハリを生み、とてもよいと思った。

委員：

リスケさんは、ラジオ出演に不慣れな選手たちから、うまく話を引き出していたが、出演した女子選手2人のどちらが話しているのか分からなくなる時があり、会話の中で、もう少し選手の名前を伝えてほしかった。

委員：

もう一人の出演者である AZUSA さんは、原稿を読んでも、伝える工夫があまりみられなかった。もっと喋りのスキルを上げてほしい。

委員：

「2007年」の放送上の読み方は、「にせんなな年」が正しいのか？
それとも「にせんしち年」が正しいのか？

事業者：

「じゅうしち」だと、「じゅういち」、と聞き間違えることもあり、それを避けるために、「しち」ではなく、「なな」と読む場合もある。しかし、明確な定めはない。

委員：

コーナーの冒頭部で、ホッケーという競技について、もう少し詳しい説明があったらよかった。また、今市地域でこの競技が根付いた理由などにも触れてほしかった。

委員：

今後も、県内の様々な競技の有望選手を番組で取り上げてほしい。
また、週末に予定される各競技の県大会の情報を知らせるコーナーがあると良いと思った。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回を開催を12月11日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 11月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし